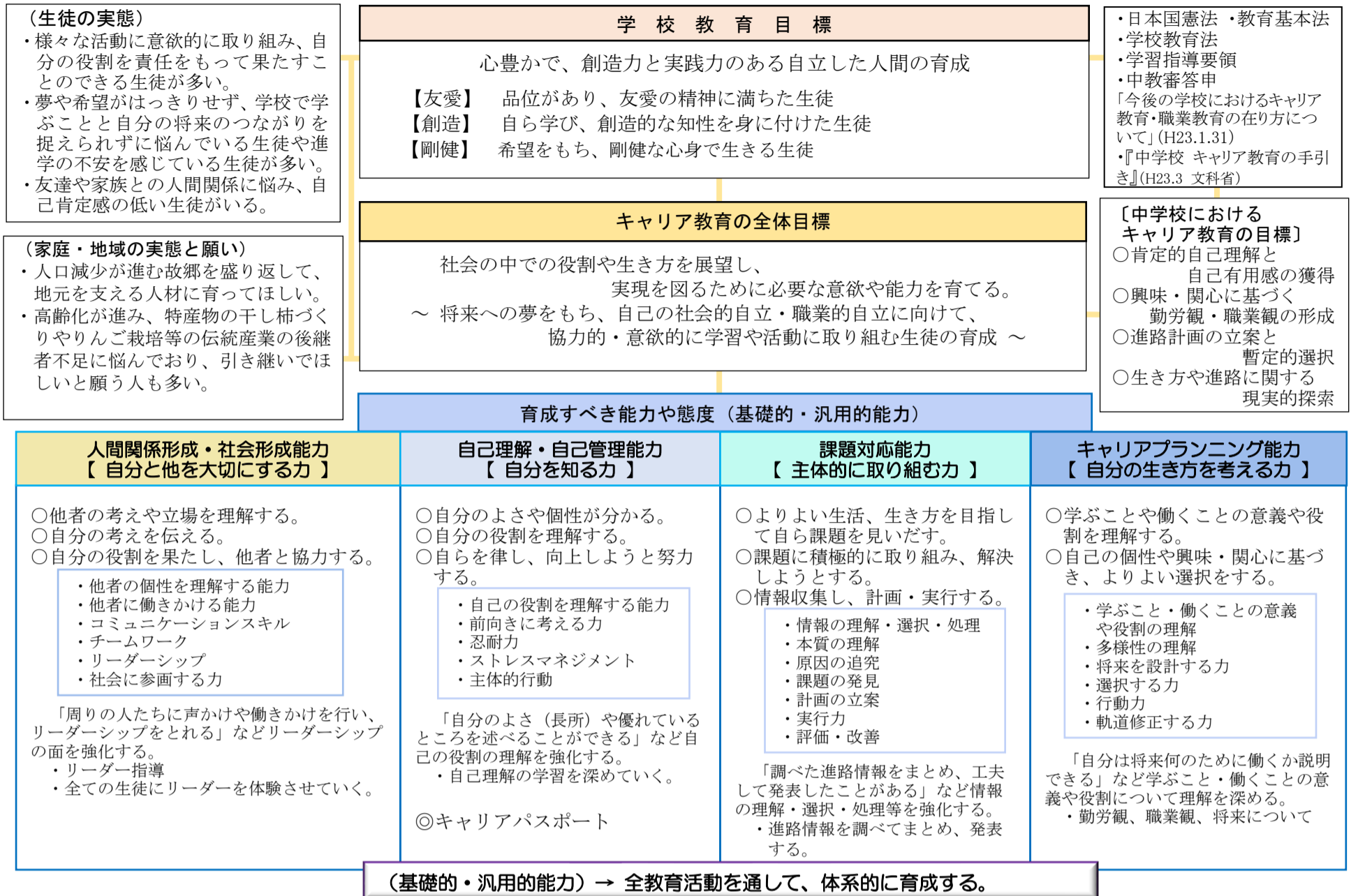


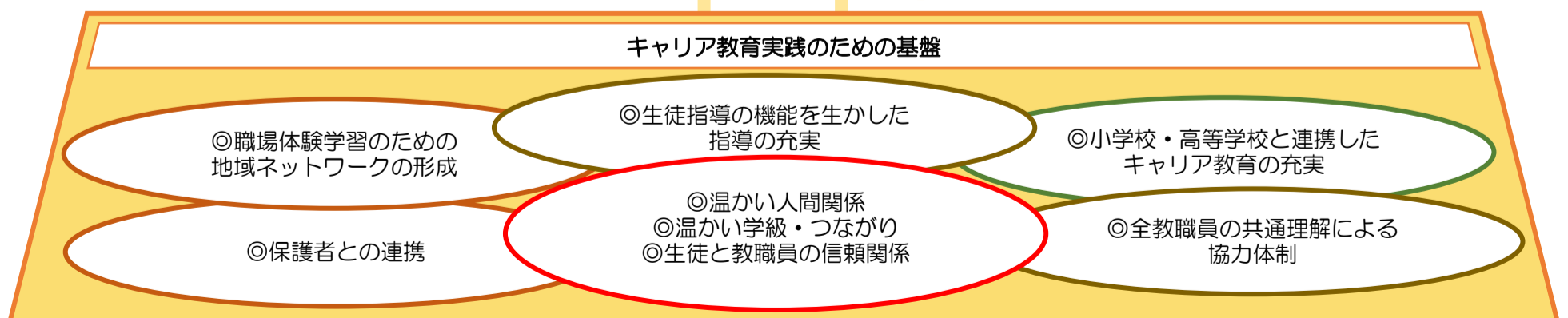
キャリア教育

(1) キャリア教育の全体構想



各学年の指導の重点		
第1学年	第2学年	第3学年
○キャリア学習への関心を高めるとともに、自己理解に努め、自己の適性についての関心をもたせる。 ○将来について、夢や希望をもたせ、自己目標達成への努力や自己実現への意欲を高める。 ○身近な職業への理解を深め、望ましい勤労観を育てる。 ○上級学校や様々な職業を中心とした進路情報に触れ、生き方に関する視野を広げる。	○自己理解を深めるとともに目標を立て、その達成に向けて努力する意欲を高める。 ○「社会に学ぶ『14歳の挑戦』」や福祉体験学習を通して、望ましい職業観、勤労観を育むとともに進路選択に対する意欲と関心を高める。 ○中学校卒業後の進路と将来設計についての学習を通して、自己の生き方への視野を広げる。 ○職業や上級学校等に関する情報を正しく理解させ、自らの課題として考えさせる。	○オープンハイスクールや高校説明会等への参加、報告会を通して、自分を見つめ卒業後の進路を具体的に考えさせる。 ○現在の適性や希望を考えながら、主体的に進路を選択できる姿勢を育成する。 ○保護者、各関係機関と連携をとりながら、生徒のよりよい将来に向けての前向きな意欲をもたせる。 ○自ら資料を集め、分析し、よりよく活用する力を育てる。

家庭や関係機関との連携	各教科	特別の教科 道徳	学級活動	生徒会活動	学校行事
・学年懇談会、保護者会、学校だより、学年だより等、あらゆる機会を通して家庭との連携を深め、協力して進路についての適切な援助ができるようにする。 ・関係諸機関と連携を密にし、情報交換等を積極的に行う。	・各教科の学習の中で、生き方や人生の意味を考える機会をもつ。 ・生徒一人一人が自己の能力・適性を発見し、伸ばしていける主体的な学習を進める。 ・将来の進路を選択するために必要な基礎的な能力を養う。	・生徒一人一人の感じ方や考え方を生かした指導の中で、望ましい職業観・勤労観・人生の価値観を養う。 ・将来の職業人、社会人としての心構えが身に付けられるようにする。 ・自らの生き方について考えを深める。	・生徒一人一人が自らの個性や能力、適性について理解を深め、将来の生き方について考え、自己実現を目指す進路学習を進める。 ・ガイダンスの機能を充実させ、生徒に自らのよさを生かした生き方を考えて行動しようとする態度を育てる。	・主体的・自発的な活動の中で、生徒一人一人が自己理解を深め、自己の能力や興味・関心、適性を自覚し、自己実現ができるようにする。 ・奉仕活動等の啓発的活動を通して、集団の発展に寄与する心や勤労を尊ぶ心を養う。	・自分の役割を理解し、各種行事に積極的に参加しようとする意識を育てる。 ・勤労・生産的な体験や啓発的な体験等を通して、勤労の尊さや働く喜びが味わえるようにする。



(2) キャリア教育の実践計画

